

# 貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 2024/01/22号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



### 【ゴールドマーケットの現状】

## 金利上昇も中東情勢と底値固さがゴールド支える

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



金利は前週も上昇、ドルも堅調な状況でした。ゴールドはそれを受けて軟調で、木曜日には2002ドルまで下げましたが2000ドルを割り込むのには至らず、逆にそこから切り返し、週末はほぼ2030ドルで迎えました。前週に出た米経済指標は新規失業保険申請件数が、過去50年で二番目に低い数字になるなど、米経済の好調を示す数字ばかりで、これにより、FRBの金利下げを急ぐ必要はないという想像から長期金利は4%を超えて上昇、ドルインデックスも上昇するというマーケットになりました。FedWatchによる3月の金利下げ予想は先週の70%台後半から50%へと大きく後退しています。特筆すべきは、それでもゴールドが切り返してきているということです。その背景として考えられるのは中東情勢のさらなる緊迫化。英米によるフーシ派爆撃に加えて、本来友好国であるはずのパキスタンとイランでの爆撃とミサイル攻撃の応酬がこの地域の緊張化に拍車をかけておりそれが安全資産としてのゴールドへの買いをさそっています。その結果ゴールドと長期金利が同時に上がるという動きになりました。もう一つこのゴールドの堅調さの背景におそらく存在するのは2000ドル以下での中央銀行の買いでしょう。その近く（2002ドル）まで下げてもそこから2000ドルをブレイクすることができなかったのは、市場がそれを感じているからでしょう。長期金利とゴールドの動きの関係の希薄化が今年のゴールドの動きの特徴と言ってもよかったのですが、この中央銀行の買いこそが金利とゴールドの乖離の最大の原因と言ってよいでしょう。

円建てゴールドは木曜日に9540円まで下げたもののドル建てゴールドがここで切り返したことからそこから100円超上げて9660円台で一週間が終わりました。ドル円が148円と年初から大きく円安へと動いていることもサポートです。円建てでも強い動きが予想されます。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【マーケット・トピック】

## 「シルバーの現状」

前週「しばらくは金銀比価の高い状況（シルバーが割安）は続きそう」と書きましたが、シルバーの安さがさらに進んで、金銀比価が金曜日に90対1を超えて上昇する場面がありました。90対1というのは歴史的にみても相当に安いレベルです。長期的にみてシルバーのロングを増やしていく、でよいのではないのでしょうか。



## Gold ETF残高とゴールド価格



## 「プラチナの現状」

プラチナもゴールドと同様に長期金利の上げで900ドルを割り込みましたが、やはり前週書いたように900ドル割れを買いのチャンスとするレンジトレーディングを目指している投資家は多いようで、そこは買われて900ドルを回復して一週間が終わりました。800ドル台は底値だと思いますが、ここから大きく上昇していくのにはまだまだほかのきっかけが必要であり、この900-1000ドルレンジはまだまだ続くと思います。

## 米長期金利とゴールド



## 円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

## 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで